

特別展 陶磁器試験所と近代の建築装飾

～笠原モザイクタイルの先駆、山内逸三の学び舎～

本展は、京都市陶磁器試験場及び、国に移管された後の陶磁器試験所の資料をご紹介します特別展です。

笠原の^{せうじき}施釉磁器モザイクタイルを開発した、山内逸三の学び舎、京都市立陶磁器講習所は、京都市陶磁器試験場の伝習生制度がその前身です。京都市陶磁器試験場は、後にいわゆる「美術タイル」を広めた池田泰山が伝習生として学び、釉薬研究の第一人者となった小森忍が技師

として勤めるなど、タイルに関わる重要な人物を輩出し、大正8年（1919）に陶磁器試験所として国に移管されてからも、陶磁器製の建築装飾の開発に力を入れてきた、最先端の研究施設だったといえます。

本展では、陶磁器試験所で試作されたタイルやテラコッタなどの作品、資料を展示することで、山内が学び笠原に伝えた時代の空気を感じていただきたいと思います。

会期 平成 29 年 12 月 9 日（土）～平成 30 年 3 月 4 日（日）

休館 月曜日（祝日の場合は翌平日）、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）

開館時間 午前 9 時～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）

会場 多治見市モザイクタイルミュージアム 3F ギャラリー

主催 多治見市モザイクタイルミュージアム

協力 愛知県陶磁美術館

出品点数 20 点～30 点

※コレクション展示も、同時期に展示を入れ替えて、
ご寄贈をいただいた貴重な近代の資料をご紹介します

タイル 大正時代後半
産業総合研究所中部センター寄託資料
（愛知県陶磁美術館管理）



見どころポイント

- ① 笠原モザイクタイルの先駆者、**山内逸三**（やまうちいつぞう）のルーツを探る企画です。
- ② 山内逸三が京都に学んだ**大正末期から昭和初期**、陶磁器試験所で作られた試作品などといった**貴重な資料**を、愛知県陶磁美術館、滋賀県工業技術総合センターなどから拝借して展示します。
- ③ 多治見市モザイクタイルミュージアムが所蔵する資料の中から、関連する**近代のタイル**、**テラコッタ**等の資料も、ご紹介します。

★関連企画(予定)

※いずれも予約制、詳細は当館ホームページ及びチラシ等で告知いたします。

・見学会「近代建築さんぽ」(仮)

2018年1月27日(土) 午後1時～ 講師 村瀬良太 (建築史家)

場所 名古屋市内で集合します。

・レクチャー&ギャラリートーク「陶磁器試験所のタイル製作」

2018年2月10日(土) 午後1時30分～ 講師 佐藤一信 (愛知県陶磁美術館学芸課長)

会場 笠原中央公民館及び多治見市モザイクタイルミュージアム3階(予定)

・ワークショップ「近代のタイル」の作り方(仮)

2018年2月25日(日) 講師 児山朋克 (ケラモスアート)

会場 愛知県陶磁美術館(予定)



装飾陶板 大正10年～昭和初期
滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場



花レリーフ 大正10年～昭和初期
滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場

広報、取材をお願いいたします。

多治見市モザイクタイルミュージアム

〒507-0901 多治見市笠原町 2082-5 TEL. 0572-43-5101 FAX. 0572-43-5114

URL <http://mosaictile-museum.jp> MAIL. info@mosaictile-museum.jp

